



RIKKYO UNIVERSITY
VOLUNTEER CENTER MAIL MAGAZINE
2022.06.24



梅雨に入り蒸し暑い毎日ですが、いよいよ夏本番に近づいてきましたね。

夏休みを目前にし、短期で参加できるボランティア活動の相談も増えています。昨年よりも行動範囲が広がりそうな今夏、みなさんはどんなことに挑戦しますか？

ボランティア活動の場所は、キャンパス周辺に限りません。帰省先の自分が生まれ育った場所でまちづくりに関わってみたり、これまで全く関わりのなかった場所で農業支援を試してみたり、その選択肢は様々です。

一方で、情報の探し方が分からないとその選択肢に気づけないですし、選択肢が多様であるがゆえに、自分が何に関わってみたいのか迷うこともあると思います。そんな時には、ボランティアコーディネーターがみなさんの思いに合った活動を一緒に探しますので、ぜひボランティア相談にお越しください！



CONTENTS

- 【1】 ボランティア募集！立教ボラセンの取組に参画しませんか？
- 【2】 ボランティア活動レポート
- 【3】 「陸前高田サテライト」よりお知らせ

【1】 ボランティア募集！立教ボラセンの取組に参画しませんか？

■1■「バリアフリープロジェクト」の企画メンバーを募集します！

「バリアフリープロジェクト」は、社会の中で人々を分断する「バリア」とは何かを考えながら、その解消を目指す多様な手段を検討し、その実現に向けた取組を創出していこうというプロジェクトです。

これまでボランティアセンターでは、「バリアフリー映画上映会」を実施してきましたが、今年度からはコロナ禍の状況を踏まえて事前に手段を指定せず、学生の自由な発想と行動力を生かし、新たな「バリアフリー」の取組のカタチを探っていこうと考えています。

学生のみなさんによる主体的な活動(学生実行委員会の取組)を、ボラセンがサポートしますので、学生実行委員会のメンバーとして「多様な人が参加できる企画とそれを楽しめる環境を創ること」に挑戦してみませんか？



【募集期間】6月22日(水)～7月20日(水)12:00

【募集人数】15名程度

【活動条件】

- ・活動期間:8月2日(火)～プロジェクトの終了(2022年度中)
- ・学生実行委員会のメンバーとして自主的・主体的に活動できること

【応募資格】

- ・本学の学生
- ・週一回程度実施するミーティングに参加できる方
- ・キックオフミーティングに参加できること

※キックオフミーティングは、8/2(火)10:00-12:00に新座キャンパスで実施します。

* オンライン説明会を開催！ *

本プロジェクトの目的や募集概要について、Zoom上でご説明いたします！

第一回:6/29(水)12:40-13:10

第二回:7/5(火)17:10-17:40

「説明会申し込みフォーム

(<https://forms.gle/ZtwWi8g9Eds98dSq9>)」にメールアドレス等をご入力ください。

Zoom の情報(URL・パスコード)をお送りいたします。

↓↓↓募集ポスターの確認、申込等に関する詳細↓↓↓

https://spirit.rikkyo.ac.jp/volunteer/SitePages/members_barrier-free.aspx

■2■「学生コーディネーター」として、ボランティアセンターの運営に参画しませんか？

ボランティアセンターでは、学生の視点を生かしたボランティア活動の啓発と支援を行っていくため、ボランティアセンター所属の「学生コーディネーター(旧:学生サポーター)」を募集します！

ボランティア活動を始めたい立教生に対して、同じ学生の立場からボランティア活動のアドバイスをしたり、魅力を伝えたり、ボランティア活動に参加するためのきっかけをつくったりすることで、「学生と地域をつなぐこと」「ボランティアコーディネーターをはじめとするセンター職員とともに立教大学のボランティア活動の機運を高めていくこと」を目指します。

立教大学ボランティアセンターに参画し、ともにボランティア活動を盛り上げてみませんか？

立教大ボラセンの新しい歴史と文化をともに創ろう！

2022年度メンバー募集中！

立教大学ボランティアセンター
学生コーディネーター

立教大学ボランティアセンターでは、学生の視点を生かし、立教生のボランティア活動を支え、ともに盛り上げていただく学生コーディネーター(旧:学生サポーター)を募集します。

【募集期間】 6月22日(水)～7月13日(水)12:00

【活動期間】 2022年8月～2023年3月31日

【活動条件】 立教大学ボランティアセンターに所属する学生

ボランティア活動のイメージ
立教大学ボランティアセンターの活動
立教大学ボランティアセンターの活動

詳細は募集要項をご覧ください。
募集要項: [募集要項](#)
お問い合わせ: [お問い合わせ](#)

【募集期間】6月22日(水)～7月13日(水)12:00

【募集人数】10名程度

【活動条件】

- ・ 活動期間:2022年8月～2023年3月31日
- ・ 学生コーディネーターの活動は、ボランティア活動(無償)です。

【応募資格】

- ・ 本学の学生

- ・ 週1回(オンラインで実施)のミーティングに参加できる方

↓↓↓募集要項の確認、申込等に関する詳細↓↓↓

https://spirit.rikkyo.ac.jp/volunteer/SitePages/members_barrier_co.aspx

【2】 ボランティア活動レポート

■1■ 東京都障害者スポーツ大会「陸上競技」

「東京都障害者スポーツ大会」は、全国障害者スポーツ大会の派遣選手選考会を兼ねている都内最大規模の障害者スポーツ大会です。5/21(土)、22日(日)には知的部門の大会が、28日(土)には身体・精神部門の大会が、駒沢オリンピック公園総合運動場で3年ぶりに開催されました。

今回立教大学からは、学内で募集した学生14名とボランティアボランティアコーディネーター1名が「立教大学チーム」のボランティアとして参加しました。

立教生が担当したのは、「競技者の招集・誘導」「ハガー」「競技結果の記録」「閉会式の旗手」です。「ハガー」は、走競技の際にゴール付近で待機し、ゴール後の競技者を受け止め、表彰場所までの誘導を行う役割です。ゴールしたことに気付かない競技者がいると、他の競技者と接触し、互いに怪我をすることがあるため、それらを未然に防ぐ、知的部門ならではの役割でもあります。

参加した学生は活動を通して、競技者や競技・大会運営のサポートの方法を学んだり、改めて「しょうがいとは何か」を考えたり、スポーツの魅力や価値を体感したりしていました。



▼参加した学生の振り返りから

- ・ 見た目では知的障がい者だと分からないような人もいたので、単に障がい者だからといった偏見の目を向けてはいけなと感じた。また、大会の運営には多くのボランティアがいて驚いた。円滑に運営するためにはこのような表面上だけでは分からないような影の力が必要なのだと感じた。

- 一般的なスポーツ大会と比べて選手を直接的にサポートすることができ、選手を身近な存在に感じられました。また、「ハガー」という貴重な体験を通して選手とコミュニケーションを取り、選手一人ひとりの個性を感じ取ることができました。
一方で、選手が走り切った後に顔を合わせても、選手の心情を汲み取ることが難しく、どのように声をかけたら良いか悩む場面もありました。ですが、他のボランティアの方も一緒に声をかけてくれることも多く、安心してサポートすることができたと思います。
- 障害を持っている方とお話をしたり関わる経験が少なかったため、非常にいい経験となりました。招集の際、ご自身の手術の経験や今まで経験してきたことなどを年齢性別関係なく楽しそうにお話している方をたくさん見かけ、パラスポーツだけでなく日常的にも障害者の方とお話をする機会を作れたらいいなと感じました。話しかける際の視線の合わせ方や歩くスピード、声かけなども実際に体験して学べたのでとても楽しく充実したボランティアになりました。
- 障害の種類や競技によって異なる道具など、初めて見るものばかりですごく貴重だった。道具も自分で作っているものもあるという話を聞き、一人一人特性が違うからこそ、同じものを使うことはできないのだと感じた。
また、今まで福祉学科の授業で障害の特性や支援等を学んできたが、実際の誘導の際の声掛けなどが難しかった。授業を通して映像や文字で学んできたことを実践するには、たくさんの経験を積む必要があると思うため、今後のボランティアにも積極的に参加していきたいと感じた。

▼活動の詳細について

https://spirit.rikkyo.ac.jp/volunteer/_layouts/15/Vc5.Spirit.PortalV2/Post.aspx?ID=00064678

【3】「陸前高田サテライト」よりお知らせ

■1■ 陸前高田サテライト援助金の支給を再開します！

陸前高田サテライトは2022年6月1日より「立教大学陸前高田サテライト利用に係る交通費及び宿泊費援助金」申請の受け付けを再開いたします。詳しくは以下をご確認ください。

<https://spirit.rikkyo.ac.jp/rikutaka/SitePages/index.aspx>

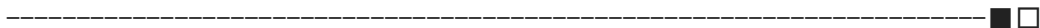
※「立教大学陸前高田サテライト利用に係る交通費及び宿泊費援助金」とは

<https://spirit.rikkyo.ac.jp/rikutaka/SitePages/fee.aspx>

■2■ NPO 法人 wiz インターンシップについて



22 年夏休み岩手実践型インターンシップ



岩手のホンキな大人たちと、挑戦する夏休み

岩手をホンキで盛り上げている経営者たちと共に、地域を変えるビジネスに取り組むことができる環境がここにはあります。

今だからこそできること、今しかできないことに、この夏挑戦してみませんか？

<インターン募集企業>

岩手県大船渡市、陸前高田市、宮古市の合計 7 社で募集予定！

現地活動中心のプロジェクトや、現地活動とオンライン活動を組み合わせたハイブリッド型のプロジェクトがあります。

以下、抜粋して紹介いたします。

■サンコー食品株式会社@大船渡市(ハイブリッド型)

レシピ開発 & 動画クリエイター求む!イカをおいしく楽しく発信

<https://npowiz.org/wizintern/internlist/769>

■アローリンクス株式会社@大船渡市(現地滞在型)

【初心者 OK・ライター募集!】Web・IT を使った地域おこしに挑戦

<https://npowiz.org/wizintern/internlist/2278>

■NPO 法人高田暮舎@陸前高田市(現地滞在型)

若者×空き家の地域おこしの最前線で、空き家活用を加速させる

<https://npowiz.org/wizintern/internlist/1296>

■株式会社隆勝丸@宮古市(現地滞在型)

ホタテ漁師による飲食店集客キャンペーンの企画インターン生募集!

<https://npowiz.org/wizintern/internlist/1323>

■共和水産株式会社@宮古市(現地滞在型)

“超”実践型インターンシップ!数字を追求するリアルマーケティング挑戦者募集

<https://npowiz.org/wizintern/internlist/733>

他、今後公開予定のプロジェクトもあります！

プロジェクト・企業の詳細は下記 wizHP をご覧ください。

<https://npowiz.org/wizintern/>

<プログラム概要>

募集期間:7月上旬頃まで

活動期間:令和4年8-9月の内1-1.5ヶ月間程度 ※応相談

対 象:大学生・大学院生・短大生・専門学校生(学部・学年不問)

活動頻度:週5日、1日4-8時間程度 ※応相談

参加条件:

(1)自分用PCがあること、自宅にネット環境が整っていること

(2)インターンシップ活動が適用される保険に加入していること

参加費:無料(現地滞在をする場合の交通費、宿泊費は個別にご説明します)

* オンライン個別相談を受付中!!

intern@npowiz.org まで、以下記載の上、ご連絡ください。

件名:インターンシップ個別相談について

本文:氏名、学校名、学部、学年、電話番号、質問・相談内容

※興味のあるプロジェクトがあれば本文にご記載ください

担当コーディネーターから詳しく説明を行いますので、

興味があればお気軽にご連絡ください。

* 問い合わせ先:NPO 法人 wiz(担当:八田)

TEL:090-1931-5683 MAIL: intern@npowiz.org

H P: <https://npowiz.org>

Facebook: npowiz

Twitter: @npowiz Instagram: npo_wiz

立教大学ボランティアセンター

「池袋キャンパス」

場所: 5号館1階

開室時間: 月～金 9:00～17:00

土曜日 9:00～12:30

「新座キャンパス」

場所: 7号館2階

開室時間: 月～金 9:00～17:00

▼ボラセン Web ページ

http://www.rikkyo.ac.jp/campuslife/support/extracurricular_activities/volunteer.html

▼メールアドレス

volunteer@rikkyo.ac.jp

▼Twitter (@rikkyo_volucen)

http://twitter.com/rikkyo_volucen/

▼Instagram

https://www.instagram.com/rikkyo_vc/?hl=ja

配信停止を希望の場合は以下の Google Form を送信してください。

<https://forms.gle/xFtZVvd94Je1nJwm7>

(C)2019 RVC all rights reserved.
